

北大桑円満寺千手観世音菩薩大祭について

北大桑円満寺で、千手観世音菩薩大祭が行われます。同寺は、武蔵武士として名を馳せ、源頼朝の鎌倉幕府創設の原動力となった小山氏の流れを汲む、小山義政公と縁の深い寺です。このたび、同寺で次の内容で大祭が行われます。

- 1 日 時 2月17日（日）10時から16時まで
- 2 場 所 北大桑円満寺（加須市北大桑965）
- 3 内 容

(1) 千手観世音菩薩御開帳（10時から16時まで）

千手観世音菩薩は市の文化財に指定されています。腕は合掌手（がっしょうて）、持連華手（じれんかて）、脇手（わきて）を合わせて42本、頭上面は頂上面も含め11面あり、千手観音像の代表的な姿となっています。秘仏となっており、以前は33年に一度の御開帳時以外は姿を拝することができませんでしたが、近年、檀家の要望により毎年大祭日に御開帳するようになりました。

(2) 白馬くぐり（10時から16時まで）

この日は護摩が焚かれ、子どもの麻疹除けを願って、木製の白馬の腹の下をくぐらせる「白馬くぐり」が行われます。

(3) 開運種まき式（11時から16時まで 10回程度実施）

「福の種をまく」が由来といわれる「開運種まき式」では、交通安全・家内安全・商売繁盛・五穀豊穡を祈願して福がまかれます。

(4) 稚児行列（12時から13時20分まで）

今年は33年に1度の稚児行列が開催されます。

艶やかな衣装を着飾ったお稚児様が宝蔵寺（北大桑）を出発し、円満寺御本堂をめざして練り歩きます。

- 4 問い合わせ先 加須市大利根総合支所地域振興課（0480-72-1319）



千手観世音菩薩御開帳



稚児行列